

★ ★ ★
いいものぎゅっと
まるごとおぼこ

Happiness!

Enjoy!

Our bond will
continue forever.

秋田おぼこ農業協同組合
企業案内
Japan Agricultural Co-operatives

Smiling face!

Kizuna

秋田おぼこ農業協同組合
〒014-0017 大仙市佐野町5-5
☎0187-86-0850(代) ☎0187-86-0911
採用に関するお問い合わせ先
総務部人事課 / ☎0187-86-0859

Energy!!

組織体制 (H25.3月末現在)

組合員数 30,653人
 組合員戸数 22,884戸
 役員理事 33人(内常勤 5人)
 監事 8人(内常勤 1人)
 職員数 781人

経営理念

JA秋田おばこはかけがえのない大切な自然を守り、組合員ならびに地域の皆様の期待と信頼に応える魅力あるJAを目指すとともに、健康で心豊かな地域社会と、夢のある農業づくりに挑戦し続けます。



営農指導

組合員の営農活動の支援・指導を行い、改善を図っていく重要な事業です。JAにおける営農指導は技術指導はもちろん、農業経営にかかわる指導や、国や県からの各種補助金についての申請補助、説明会等情報提供も行います。また、認定農業者や法人化支援など、担い手の確保・育成にも力を入れています。

販売

農畜産物を農家組合員に代わって共同で販売する事業です。園芸部門では市場との予約販売契約、米穀部門では独自の直販ルートの確保など農家組合員の所得の向上を目標に取り組んでいます。地域の集出荷施設や、米の販売戦略施設での品質の維持・管理、またJ-GAPの導入など、消費者に納得いただけるようなおばこブランド農畜産物の確立を図っています。

購買

農家組合員へ肥料・農薬・農業資材等、そして食料品、耐久資材等の生活資材と幅広く物資・サービスを提供しています。営農指導員と連携して必要な資材をタイムリーに提供できるよう供給体制を整えています。

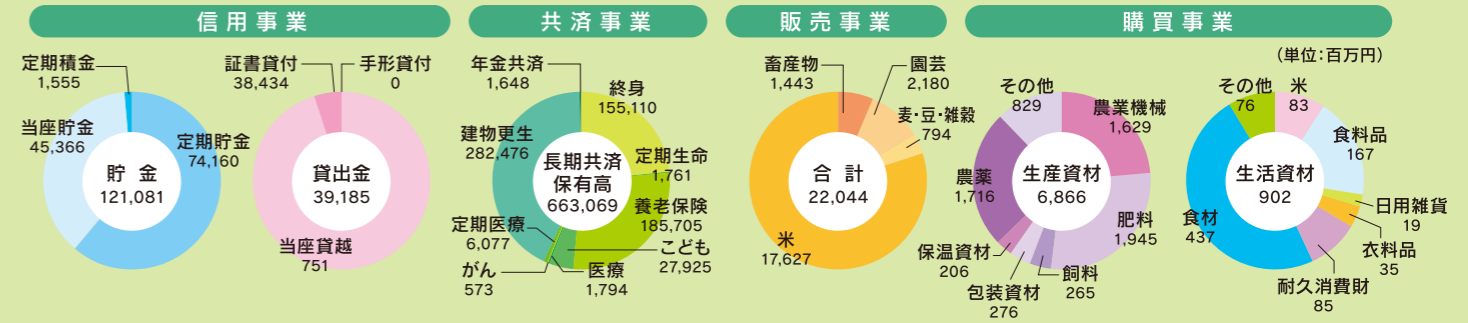
農業機械

農業に欠かせない各種農業機械について販売から保守まで行う事業です。販売を主に行う営業担当と、整備修理を行う整備担当があります。中央農機センター、北部農機センターの2ヶ所を拠点として管内をカバーし、対応しています。

生活

地域の経済活動を活性化させるための基盤となる事業です。女性部、青年部、直売部会などの組織活動や、食農教育のあぐりスクール、女性大学・青雲塾といった世代別教育活動など様々な活動を通して健康で住みよい地域づくりを進めるためのサポートを行っています。

事業量 (H25.3月末現在)



信用

全国最大級の店舗網を展開しているJA・JA信連・農林中央金庫により構成される「JAバンク」グループとして各種金融サービスを行っています。組合員や地域の方から貯金を預かり、それを原資として、貸し付けなどを行います。農業生産を行うための融資商品を取り扱っている点が、通常の銀行業務と異なります。各種窓口業務、金融アドバイザーによる営業活動と、ニーズに応じた様々な商品・プランの企画・提供を行う地域密着の事業です。

共済

共済とは、一般企業で言う生命・損害保険のことです。掛け金の収納等の窓口対応業務とライフアドバイザーによる営業活動を行っています。「ひと・いえ・くるま」など生活の万が一に備えた充実した補償内容で地域の人たちの生命と財産を守る重要な事業です。

介護福祉

地域の皆様に住み慣れた場所で心身ともに安心して暮らして頂くために、従来の介護事業である訪問介護と併せて、平成26年5月にオープン予定の高齢者福祉施設による地域支援を行います。自立的な日常生活を営むための心体的支援や利用者及び家族との相談による、個人に合った介護プランの作成など、今後も更に地域に根付いた事業を展開していきます。

他にも人事、総務といった総務部門(総務職)システムの保守管理を行うシステムエンジニア職もあります。

(午前)	(午後)
8:00~ 出勤	13:00~ 営業
9:00~ 事務処理	14:00~ 帰所(本日の実績まとめ)
10:00~ 営業(農家の方に資金提案)	17:30~ 退勤
12:00~ お昼ご飯(弁当)	(休日) 土・日・祝日

後輩たちへメッセージ

JA秋田おばこの魅力は、たくさんの人と交流ができること！通常業務に限らず、職員大会やボランティア活動などといったイベントを通して、普段一緒に仕事をしない職員とも交流を深めることができます！また私が所属する金融推進課では、お客様との面談はもちろん秋田おばこ以外のJA職員と意見交換をしたりと様々な交流があり、日々新たな発見や出会いがあります。そんな魅力があふれる職場でぜひ一緒に頑張りましょう！

高橋 大

金融共済部 金融推進課
平成25年入組
秋田技術専門学校
情報システム科卒

(午前)	(午後)
8:00~ 出勤	13:00~ 直売所へ(お知らせ、連絡、届け物など)
8:20~ 朝礼	14:00~ 事務処理
8:30~ 事務処理(直売の精算など)	17:30~ 退勤
12:00~ 昼休み	(休日) 土・日・祝日

後輩たちへメッセージ

おばこで働き始めてから、「仕事もう慣れた？」と聞かれることがよくありますが、季節によって農業は変わっていくし、行事やイベントもたくさんあるので、毎日が新しいことの連続で、学ぶことが多く、それが魅力であると感じています。

私は直売・加工を担当していて、直売所の方々と接するなかでも得るものが多いので、もっとたくさんの知識や経験を身につけて、地域に貢献していきたいです。

田村 愛

西仙北営農センター
平成25年入組
新潟薬科大学
応用生命学部卒

先輩職員の日!!
☆ 就活中の皆さんへ ☆

JA AKITA
OBAKO

(午前)	(午後)
8:00~ 出勤	14:00~ 事務処理(書類整備など)
8:20~ 朝礼	16:00~ 締め作業
8:30~ 事務処理(前日の入力したもののチェック)	16:30~ お客様へ電話アプローチなど
9:00~ 事務処理(来店予定のお客様の書類作成など)	17:30~ 退勤
13:00~ お昼	(休日) 土・日・祝日

後輩たちへメッセージ

窓口業務には毎日たくさんのお客様が来店するんですが、毎日のように来る人もいれば、稀に来る人もいます。覚えるまでなかなか顔と名前が一致しないのが大変です。逆にお客様が私のことを覚えて下さった時はとっても嬉しくてやりがいを感じます。大変なことたくさんありますが、それ以上に楽しさや嬉しさがいっぱいある仕事です！

佐藤 弘卓

大曲支店 金融共済課
平成24年入組
ノースアジア大学
経済学部卒

(午前)	(午後)
8:00~ 出勤・掃除・朝礼	13:30~ 行事の会計処理など・事務処理
8:30~ 行事の会場準備・受付	14:30~ 次回行事の計画、準備
9:30~ 講習会(料理講習などなど...)	16:00~ 部員さんに出す文章の準備など
12:00~ 後片付け	17:15~ 退勤(一番早くこの時間です)
12:30~ お昼ご飯(運番の場合)	(休日) 土日祝日(当番業務もあります)

後輩たちへメッセージ

組合員(地域住民)皆さんの暮らしをより良くするため、現在奮闘中。生活担当は毎月イベントが目白押しで、なかなか忙しいです。ですが！部員さんと一緒に企画した行事が成功した時の嬉しさはひとしお。これからを担う子供達に食と農の大切さを伝えられるのも生活担当の特権です。行事を企画する際は本当に悩みます。が、その分のやりがいも大きいです！頑張った分だけ、笑顔が見られます。

佐藤 芙美

仙北営農センター
平成23年入組
岩手大学農学部卒

おばこのここがすごい!

米 穀

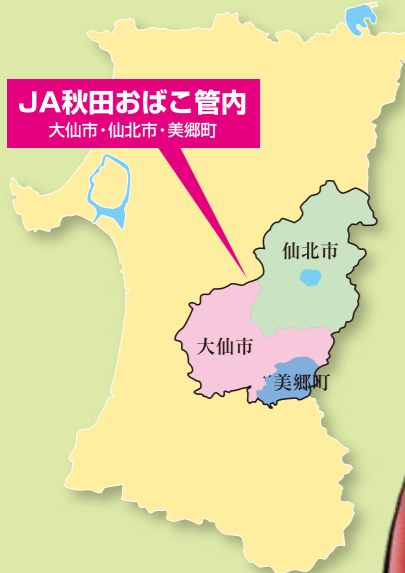


JA秋田おばこは米取扱量日本一という実績を胸に、安全、安心、高品質な米の生産に努めています。

水稻種子温湯消毒施設による農薬使用量を減らした体に優しい米づくりへの取り組みや、ライスターミナルなどの各種施設による一貫した品質の向上・維持・管理を行うことで、消費者に美味しい米を届けています。

その結果、米取扱量80,000トンという日本一の実績と米卸業者からの産地指定率155%という高い評価を得ています。

また、農家の所得向上・農地の有効活用を目的とした輸出用米の生産・流通の拡大、『おばこの匠』『ゆめおばこ日本一コンテスト』といった生産者の意欲向上やおばこ米の食味・収量・生産技術の向上を目指したイベントの企画・運営も行っています。



おばこ米の美味しさは地球だけではとどまらない!



おばこ米 100%使用!

米の可能性の追求

平成25年に独自販売加工米の流通が、取扱量の約1/6に及び12,730tに達するなど、加工用米の生産・流通についても積極的に取り組んでいます。

その一例としては、おばこ米100%で造られる非常食や宇宙食への原料供給があり、他にも様々な形で自慢の米を消費者に届けています。

園 芸



野菜・花きの産地化を目指し、日々尽力しています。

野菜ではホウレンソウやトマト・ソラマメなど、花きではダリアやトルコギキョウをはじめとした、多品目・多品種の生産・販売に力を注いでいます。

営農指導員による生産指導に加え、経験豊富なベテラン生産者を准園芸指導員に任命し、おばこと生産者が一体となって次世代の担い手たちを指導・育成しています。

また、農家の所得向上を目標として市場との情報交換による販売時期の見極め、一元集出荷体制によるコストの削減など、有利な条件で販売できるように努めています。

J-GAPは食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証です。

農業や肥料の適正使用や農産物の取り扱い方法だけでなく、周辺自然環境の保護や作業者の安全確保など、農場内で予想される身近なリスクを「見える化」し、それを取り除いて安全な作業工程による品質保証を行う一つの手段です。

現在秋田県では2JAで指導に取り組んでおり、おばこでは平成24年3月から日本GAP協会より「米(玄米)」での団体認証を受け、資格認定を受けた27名のJ-GAP指導員を本店・各支店に配置し、指導に当たっています。

今後さらに組合員への周知により、J-GAPの定着を図り、米だけでなく園芸品目への拡大なども計画しています。

J-GAP
(農業生産管理工程)

Q.配属されるのは?

A. おばこ管内(大仙市、仙北市、美郷町)の本店、支店、営農センター等各事業所のいずれかに配属になります。

Q.やっぱり地元の方が有利…?

A. 地元や農業関連の学部・学科出身であることによる有利・不利はありません。当組合では、業務への適性や人間性を重視した選考を行っているため、農業関係以外の学部・学科、県外、管外からも積極的に採用を行っています。

Q.職種は希望できますか?

A. 総合事業職として募集を行っています。採用試験全体を通じて判断するため、ある程度は本人の希望を考慮しますが、志望職種以外の配属になる可能性もあります。

Q.人事異動はありますか?

A. 人によって異なりますが3年をめぐりに人事異動が行われます。上司からの職務に対する評価や面談、そして本人の希望を考慮する形で3月頃行われます。

福利厚生も充実!

- ・通勤手当
- ・借家手当
- ・時間外手当
- ・育児休業
- ・退職金制度

などなど

内定が決まった後も安心!

・内定者研修

先輩職員や同期と話す機会が設けられ不安を解消できます。

・新採用研修

JAについて詳しく学ぶ、中央会が主催する研修です。

・実務研修

実際に職場で働く研修です。

聞きたい事があつたらなんでも聞いて下さいね!

4月からも安心!

新採用職員の指導・サポートを先輩職員がマンツーマンで行う「**エルダー制度**」があります。わからないことは先輩職員がしっかり教えてくれるので、色んなことを聞いて学んでどんどん成長できます!!

